



秋が短いですね 急に冬が来ました 夏が長くて春と秋が短い四季になるのかな <https://www.kawaranbe.net/>

2023年11月21日発行

10月15日～11月14日

かわらんべ講座

詳細はコチラに掲載しています



11/4 79名 特別講座 子ども焼きイモ体験



収穫の秋。食欲の秋。どちらも満ちたこの講座。サツマイモを掘って収穫して、とりたてのイモを「たき火」で焼きイモ体験。その場で自分で焼いたイモは、もちろん最高のおいしさ。

10/19 11名 ウォーキング



10/21 35名 和紙づくり

昔ながらの手作りの紙：和紙の「紙すき」を体験しました。今は工場で機械で作る紙も昔はこうして一枚一枚 手間と時間をかけて作っていたことを知りました。



11/2 13名 絵手紙



天竜川防災拠点が企画した独自の防災学習プログラム 連続防災講座

【天竜川防災拠点】が大事な取り組みの一つとして企画したのがこの【連続防災講座】です 歩いたり手を動かしたり頭を使ったりの【体験】が特徴です 防災を身近に感じてもらえるよう工夫をこらした講座を関連団体とともに運営しました

連続防災講座 ④ 中央アルプスの成り立ちと急流の土砂を防ぐ砂防を【砂防たんけん】

10/28 11名

■会場協力
【アルプス体験館】：駒ヶ根市
【砂防情報センター】：天竜川上流河川事務所砂防調査課

いつもの天竜川をはなれて「駒ヶ根高原砂防フィールドミュージアム」を遠足しながら自然や防災を学習。中央アルプスの溪流や自然その成り立ちやナソの大石土砂災害から暮らしを守る「砂防」など、見どころいっぱい青空博物館でした。



大きな花崗岩がゴロゴロころがる太田切川で土砂災害から命や生活を守る太田切流路工について「溪流たんけん」と「砂防たんけん」をしました



「駒ヶ根高原たんけん」では、大昔に氷河と土石流が山頂付近から運んできた巨大な迷子石「切石」と「ござ石」から、駒ヶ根高原の成り立ちや大地の営みを知りました

連続防災講座 ⑤ 天竜川の大水の目じるしをさがして【防災ウォーキング】

11/11 25名

過去の大水が広がった範囲を知ることは防災のキホンです。天竜川の大水の目じるしを歩いてさがしました。次は自分の生活圏の大水や土砂災害の目印を探して災害への備えをお願いします。

さがしにいこう 大水の目じるし じっさいに 天竜川の大水 ここまで来た！

- ① 「死人岩がかくれると大水」
- ② 今年6月2日の大水
- ③ 平成18年7月豪雨災害の大水
- ④ 三六災害の大水 (62年前の大災害)
- ⑤ 未満水の大水 (約300年前の大災害)
- ⑥ 1000年に一度の大水 (よそう)

さあ 自分の足で さがしに いこう！
強い北風のため⑤⑥は断念しました



大水の写真を頼りに、みんなで大水の時の岸辺の位置をさがしました コチラ側から歩いて到達した死人岩は、これで両岸から制覇！

今月もこんなにたくさん
ご利用いただきました

ご利用いただきました
リクエスト講座

10月15日～11月14日
のようす

学校の授業支援・親子レク・地区行事など
園・学校・各種団体からの要望を受けて
ご依頼団体と一緒に企画・運営する講座です

【注】表示した人数は児童数・生徒数ですが、
一部はスタッフなども含まれます(また、一部
は申込時の予定人数の場合もあります)

●山本保育園 秋の虫さがしとしおり作りを体験
60名 10月20日(金) いただきました



●時又保育園 参観① 秋の虫さがしを
80名 10月24日(火) 体験いただきました



●時又保育園 参観② 秋の虫さがしを
80名 10月25日(水) 体験いただきました



●三穂小学校 5学年 地域の川で水生
15名 10月27日(金) 生物調査を体験
いただきました



●松尾東保育園 年長 秋の虫とりと工
20名 11月2日(木) 作を体験いた
きました



●川路まちづくり委員会 教育育成委員会
100名 11月4日(土) かわらんべの
施設や取組を
紹介しました



●浜井場小学校 クラブ活動
15名 11月9日(木) ドングリ集めと
集めたドングリで
コマ作りを体験
いただきました



●川路小学校 6学年親子 自分で育てた蚕の
39名 11月11日(土) 繭でコサージュ作
りを体験いた
しました



視察研修

視察研修に利用いただき、当館の防災の取
組みや治水対策事業等を紹介しました

- 長野県治水砂防協会犀川支部 20名 10月17日(火)
- 一社パブリックサービス 6名 10月26日(木)
- 大垣市消防団 和合分団 20名 11月4日(土)
- 三郷市江戸川水防事務組合 30名 11月14日(火)

近隣地区の文化祭で活動紹介を展示しました

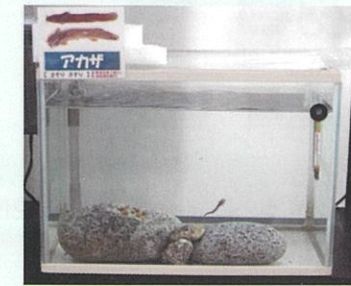
竜丘地区文化祭

11月11日(土)～12日(日)の文化祭展示会場に
おいて、今年度のかわらんべの取り組みで
ある「連続防災講座」と「いっしょに川づく
り」活動紹介パネルを展示しました。



ぜつめつきぐ種の魚アカザを展示しました
めずらしい黄色いのもいます

アカザは「さそり」とか「さすり」と呼ば
れる赤っぽくて小さなナマズの仲間で天竜川
などの川の石の下にすんでいます。最近は数
が少なくなり絶滅危惧種になっています。
伊那谷の川で魚の調査をしている柳生さん
と宮澤さん(ともに環境アセスメントセン
ター)が調査でみつけた「黄色いアカザ」を
届けてくれたので館内で飼育展示しています。
黄色の個体は珍しいらしく、そのことをま
とめた論文を準備中とのことです。
館内の「天竜川ミニ水族館」で常時展示して
いますので見に来てください。



黄色いのが1匹と普通の色のが2匹
います。日中は石の間にかくれて
ジッとしていますが、暗くなると動
き回って、エサとして入れておいた
水生昆虫を食べています

漁協さんと一緒に 川の魚を増やす活動に取り組み中です

下伊那漁業協同組合さん(飯田市)

天竜川へ放流する
ドジョウの一部を提
供いただき、11月7日
に水辺の楽校に放流
しました。
ほかにも7月にウナ
ギ・9月にフナも水辺
の楽校の仲間に加わ
りました。来年の自
然体験をお楽しみに。



ドジョウたちは来年には
大きくなってみなさんが
来るのを待っています



9月20日にフナを放流
しました
今は深いところに移動し
て姿は見えませんが、元
気に育っているようです

7月7日のウナギの放流では体験
学習中の龍江小学校のみなさん
にも放流をお手伝いいただきました
9月13日 そのウナギの一匹が池
にいました すいぶん上流まで移
動していることがわかりました



★さっそく孵化しました
なんと翌日には孵化が
始まり、生まれたての
赤ちゃんが小石の間で
ジッとしています



天竜川漁業協同組合さん(伊那市)

漁協さんからアマゴの発
眼卵の飼育のお誘いがあり
11月10日に卵をお預かりし
てきました。
発眼卵は上伊那地域の小
学校11校など15団体に配布。
里親として卵を育て、生まれ
てきた赤ちゃんアマゴは春
になったら近くの川に放流
します。
配布会場には伊那小学校
のみなさんが訪れ、これか
らの飼育に期待の表情でした。



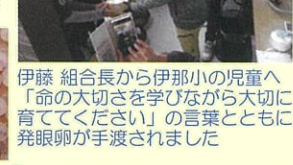
上伊那の溪流に20万粒を
埋設するそうです その
一部を今回預かりました



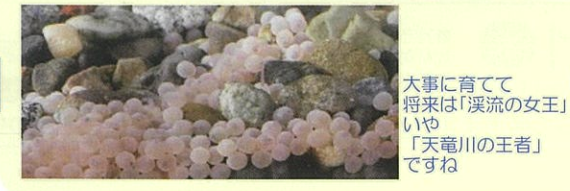
卵の中に大きな目があって
時々卵の中で体をくねらせ
て動く様子がとても
カワイイです



伊藤 組合長から伊那小の児童へ
「命の大切さを学びながら大切に
育ててください」の言葉とともに
発眼卵が手渡されました



水温が低い場所がい
いので当面は自立
できない場所で飼
育していますが、
もっと寒くなって
来たら館内の観察
できる場所へ移す
予定です



大事に育てて
将来は「溪流の女王」
いや
「天竜川の王者」
ですね

■発眼卵はつがらん
アマゴはサケ科なので
卵はイクラにそっくり。
秋に産まれた卵が生育
して卵の中に赤ちゃん
の目や体ができ始
めている状態が発眼卵です。
真冬にヨークサック(栄
養の入った袋)を付けた
赤ちゃんアマゴが
生まれます



発眼卵
卵の大きさは
5~6mmほど
生まれたての
赤ちゃん

12月 かわらんべ講座

※12月の休館日は、4日(月)・11日(月)・18日(月)・25日(月)・29日(金)・30日(土)・31日(日)

■基本的にマスクの着用は個人の判断をお願いします
 ■念のため、どの講座もマスクは持参ください 地域の感染状況や講座の内容(乗り合わせ移動)などによっては着用をお願いする場合があります
 ■天候・水量や感染予防の観点から【中止】や【変更】となる場合もあります 情報はホームページで公表します



講座申込期間や講座時間の変更

■講座の前日まで申し込みます*
 ■1月から講座の時間を変更します
 開始時間9:30 終了時間11:30
 *本誌配付回覧の頃には受付終了となっていることもあります

ねんがじょう
年賀状づくり 定員15組 12/2 土
 午前9:00~11:00
 会場：かわらんべ(屋内)
 子どもと保護者



午後部
クリスマスリース作り 定員20組 12/9 土
 午後13:00~15:00
 会場：かわらんべと周辺
 子どもと保護者



※午前の部は受付終了です

わし たこ
和紙で凧づくり 定員15組 12/16 土
 午前9:00~11:00
 会場：かわらんべと周辺
 子どもと保護者



おやす作り 定員20組 12/23 土
 午前9:00~11:00
 会場：かわらんべ(屋内)
 子どもと保護者



絵手紙 定員16名 12/7 木
 午前9:00~11:00
 成人講座

四季の野鳥「冬」 12/10 日
 午前9:00~11:00
 成人講座

ウォーキング 12/21 木
 午後13:30~15:30
 成人講座

1月 かわらんべ講座

※1月の休館日は、1日(月)~3日(水)・9日(火)・15日(月)・22日(月)・29日(月)

受付12/2~ 受付期間 12月2日(土)から講座日前日まで
 ※受付期間でも定員に達した場合は早期に受付終了となります

【年末年始休館】12月29日(金)~1月3日(水)

ななくさ あじ
七草がゆを味わう 定員15組 1/6 土
 午前9:30~11:30
 会場：かわらんべと周辺
 子どもと保護者

【持ち物】
 ・摘んだ草を入れる袋
 ・はし
 ・調理の服装(エプロン・マスク・ぼうし)

新春の野に出て「春の七草」を摘み、一年の無病息災を願って「七草がゆ」をつくる伝統行事を体験します。
 「ななくさ なすな…」の唱歌歌とともに七草をたたいて、災いのもとを追いかおう!



わし つか
和紙を使ったあんどん作り 定員15組 1/13 土
 午前9:30~11:30
 会場：かわらんべ(屋内)
 子どもと保護者

10月講座の和紙を材料にして写真のような「あんどん」を作ります。
 和紙に映し出される木の葉のシルエットと柔らかい光にいやされます。
 【持ち物】
 ・筆記用具
 ・10月の講座で作った和紙
 ※和紙がなくても参加可



むし
まごたろう虫をふやそう2 定員15組 1/20 土
 午前9:30~11:30
 会場：水辺の楽校(屋外)
 子どもと保護者

まごたろう虫のすみよい環境づくりの2回目。川の生きものには石が大事なことが1回目の実験でわかったので、下流から石を運んで小川に入れて生きものの「すみか」にします。

【持ち物】
 ・長ぐつ
 ・軍手
 ・防寒具



ぞ
ガーゼのしぼり染め 定員15組 1/27 土
 午前9:30~11:30
 会場：かわらんべ(屋内)
 子どもと保護者

草木や木の果実の果汁でガーゼを染めます。布をしぼって「しぼり染め」にすると写真のような模様が浮き出ます。

【持ち物】
 ・防水手袋
 ※ゴム製でもビニール製でもいいです



■成人講座は受付中

絵手紙 1/11 木 定員16名
 午前9:30~11:30
 成人講座
 持ち物 教材費300円 筆記用具
 季節の画題を自分らしく描きます
 9:30 開始です

ウォーキング 1/18 木 定員16名
 午後13:30~15:30
 成人講座
 持ち物 歩きに適した服装 飲み物
 かわらんべコースを2周します